

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	株式会社いずみエコロジーファームハートランド事業部	事業所番号	2710500881
住所	和泉市テクノステージ2-1-10	管理者名	渡辺 治
電話番号	0725-99-8057	対象年度	R5年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 活動場所 大阪いずみ市民生活協テクノステージ施設内 実施日程 2023年4月1日～2024年3月31日 実施した生産活動・施設外就労の概要 大阪いずみ市民生活協同組合・テクノステージ施設内に於いて 食品残渣の堆肥化作業に従事。5日/週 利用者1～2名+スタッフ1名で作業を請け負う。堆肥化装置を使用し、約1,000kg/日の食品残渣を堆肥化装置に投入。力のいる作業ではあるが、作業に慣れば毎日の投入量をコントロールするだけで作業は完結。ただし、機械の不具合対応や良質な堆肥を作る為には、日々の投入量を調整と機械の設定変更が不可欠。昨年度からは専任スタッフを配置。異物混入の際には残渣の出荷元との調整が必要。生成した堆肥の取り出し、運搬まで弊社で請け負う。	<活動の様子> 活動の様子の写真 成果物の写真 活動内容の追加コメント  <p>専用の機械を使用して、コンベアに食品残渣を投入する利用者とスタッフ</p> <p>青色のコンテナを1日平均7～10台こなす。(約1,000kg)</p>
<目的> 地域連携活動のねらい 従前は食品残渣が廃棄処分されていた。弊社が食品残渣リサイクル作業の一翼を担う事で、食品残渣のスムーズなリサイクルを実現する。 地域にとってのメリット 雇用創出。食品リサイクル率の向上を通して循環型社会の実現。 対象者にとってのメリット 日々同じ作業の反復となる為、重度の障がいをお持ちの方でも、時間をかけて作業習得をすることが可能。	
<成果> 実施した結果 年間で約220トンの食品残渣をリサイクルした。 得られた成果 受託料は毎月定額で受け取る事ができる為、経営的に安定。また前年対比で●●%食品リサイクル率を向上させた。 課題点 2023年度は機械の不具合による大幅な修理が発生した。機械の不具合を無くし、安定的に稼働させる事と良質な堆肥を生産する為の微調整などの機械のメンテナンスが課題。	

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価 食品残渣の堆肥化作業を委託するが、トラブル発生時にも受託側で対応を行ってくれるため大きく評価している。なお、企業側の食品リサイクル率のアップにも貢献している。 今後の連携強化に向けた課題 2023年度は、食品残渣の水分量が多くても安定して堆肥化できるように機械を回収しました。堆肥の品質向上を期待しています。また、機械の故障によりシャフト部分の交換を行いました。大がかりな修理となったため約2ヶ月半機械を止めることになりました。日常点検を強化頂いて機械の異常を早期発見できるようにお願いします。			
連携先企業名	大阪いずみ市民生活協同組合	担当者名	人事総務部 升田 寿